

震災・防災 つながるカフェ

当時のことを聞いて、震災や防災について、考えてみませんか？

東日本大震災津波から 14 年。震災後に生まれた世代、記憶にあまり無い世代が増えてくる中、教訓を未来につないでいくことが課題。

発災当時の小学生や中学生、震災伝承を学習している大槌高校の生徒さんらが、**沿岸からオンラインで発表**。お茶やお菓子は出ませんが、ちょっと参加してみませんか。

2025年3月20日（木・祝）

時間 13:30～15:30

参加方法 オンライン及び対面(県立図書館 I-ルーム)

【内容】

カフェの開催にあたって (I-ルーム紹介)

ゲストスピーカーによる発表

語らいのカフェ (質疑応答など)

対面参加は申込不要です
当日会場までお越し下さい

オンライン参加は申込が必要です

右の QR コードからお申込みください。

QR コードからのお申込みが難しい場合は、下記メールアドレスにお名前を明記の上お申し込みください。

Zoom の URL は 19 日 (水) にお送りします。

申込締切 3月18日 (火)

【メールアドレス】 iwatebosai@gmail.com



オンライン
参加



たかはし みう
高橋 未宇さん

当時、高田小学校の 5 年生。生まれつき脳性麻痺による車いすユーザー。現在、教訓をつなぐ福祉・防災ファシリテーターとして、みんなで助かる防災を掲げ活動。

オンライン
参加



かわさき あき
川崎 杏樹さん

当時、釜石東中学校の 2 年生。小学生とともに高台に避難。現在、釜石市のいのちをつなぐ未来館の職員として、震災の語り継ぎや実践的な防災学習の活動を展開。

オンライン
参加



大槌高校 震災伝承班

震災を経験していない世代が担う震災伝承とはどうあればよいか。総合的な探究の時間で、町内外の方々にヒアリングし、高校生の考える震災伝承について発表。